

2022年度
日本赤十字看護大学
教育評価・学生生活調査報告書



ARS 株式会社

本調査の概要

■ 調 査 テ ー マ 教育評価・学生生活調査

■ 対象と抽出方法 2022 年度、看護学部 1～4 年生およびさいたま看護学部の 1～3 年生。

■ 調 査 方 法

自記式質問紙調査：看護学部 4 年生（116 名）

WEB 調査（Microsoft Forms）：看護学部 1～3 年生（総数 432 名、1 年生 127 名、2 年生 85 名、3 年生 105 名、4 年生 115 名）、さいたま看護学部 1～3 年生（総数 225 名、1 年生 60 名、2 年生 86 名、3 年生 79 名）

■ 有 効 回 答 数 回収した学生数のうち 100%が有効であった。

■ 調 査 時 期 看護学部 1～3 年生：2023 年 4 月、さいたま看護学部：2023 年 4 月、看護学部 4 年生：2022 年 12 月

■ 調 査 項 目 全 140 項目程度：A. 教育等に関する調査（現時点であなたが以下の項目の能力を身につけているか 27 項目、本学のカリキュラムに対するあなたの考え 10 項目、学生生活における満足度 31 項目）、B. 学生生活全般（住居／収入／支出／アルバイト／課外活動／睡眠時間／学修時間／大学生生活について）

■ 集 計 方 法 学部別（看護学部、さいたま看護学部）、学年別に全設問の基本集計を行った。

■ 回 答 数

学年	看護学部	さいたま看護学部
1 年生	127 件	60 件
2 年生	85 件	86 件
3 年生 + 編入生	105 件（うち編入生 5 件）	79 名
4 年生 + 編入生	115 件（うち編入生 3 件）	—
計	432 件	225 名

●目次●

A 教育等に関する調査	4
1 現時点であなたが身につけている能力	4
1-1 一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる	4
1-2 看護を受ける人の成長発達や生活の場に応じた看護に必要な知識・技術を用い、実践することができる	5
1-3 看護を受ける人の持つ力を活かして実践することができる	5
1-4 健康レベルに応じた諸課題への対処に必要な知識・技術を用い、実践することができる	6
1-5 自らが設定した諸課題の情報を適切に収集し、分析することができる	6
1-6 専門職として成長し続けるための自己の課題を見出すことができる.....	7
1-7 国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる.....	7
2 本学のカリキュラムに対するあなたの考え	8
2-1 高等学校での学習を補ったり、大学での学習へとつないでいくことを考えたカリキュラムである.....	8
2-2 医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである.....	8
2-3 エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである	9
2-4 さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである	9
2-5 国内外の災害救援・救護や国際開発協力等における実践能力を育成するようなカリキュラムである	10
2-6 看護職（保健師・看護師）に共通する地域社会（コミュニティ）の中で連携して実践していくための能力を育成するようなカリキュラムである	10
3 学生生活における満足度	10
3-1 学問分野の専門家として優れた教員が多い.....	10
3-2 学生担当教員による支援に満足している／クラス担当教員による支援に満足している	11
3-2 全般的に学生生活に満足している	11
3-4 本学に入学してよかったと思う	12
3-5 自分の成長を実感している	12
B 学生生活全般に関する調査.....	13
2. 学生生活全般に関する調査	13
2-1. 現在、住んでいる住居の種類はどれですか	13
2-3 アルバイトによる収入	13
2-4 アルバイトの目的はなんですか。.....	14
2-5 あなたは、現在、課外活動（学内・学外）に参加していますか。.....	14
2-6 普段時（実習がない期間）の学習時間（看護専門科目）	15
2-7 普段時（実習がない期間）の学習時間（基礎教養科目）	15
2-8 実習がある期間の学習時間	16

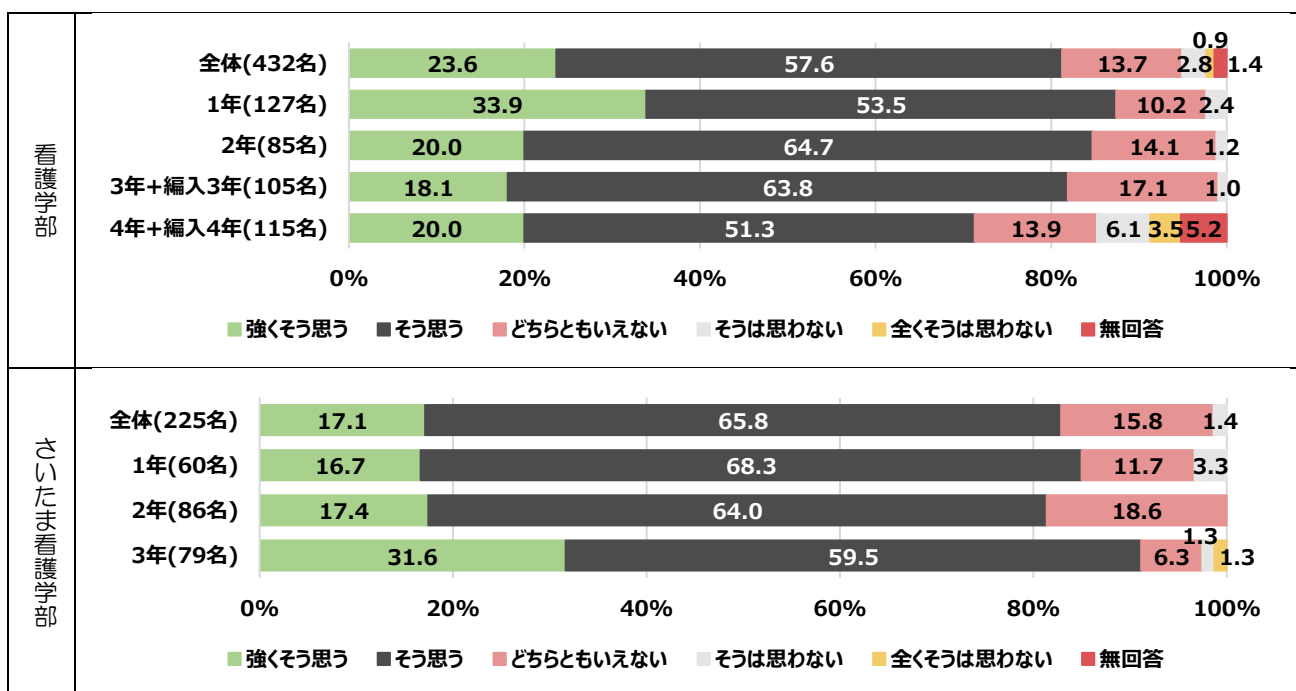
A 教育等に関する調査

- ✓ 「一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる」への回答は全体の9割が「思う」「強く思う」と肯定的であった。学年による回答の差は、さいたま看護学部で学年が上がるにつれ「強く思う」の割合が高い傾向がみとれた。
- ✓ 看護の実践を伴う設問については、1年生は未習得、学年が上がるとともに習得されていく傾向が読み取れた。
- ✓ 看護学部4年生について、「国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる」に対して「強く思う」と回答した割合が他学年と比較し10%ほど高かった。
- ✓ カリキュラムに対しては、看護学部1年生は評価自体が難しい様子が見て取れたが、他学年は8～9割が肯定的に回答していた。
- ✓ 「エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラム」に関して、さいたま看護学部の3年生は8割弱が「強く思う」と回答。1年生、2年生の分布と大きく異なった。
- ✓ 課外活動(部活・サークル・学園祭)に関する支援への満足度は、全体の約44%が肯定的に「満足している」と回答した。

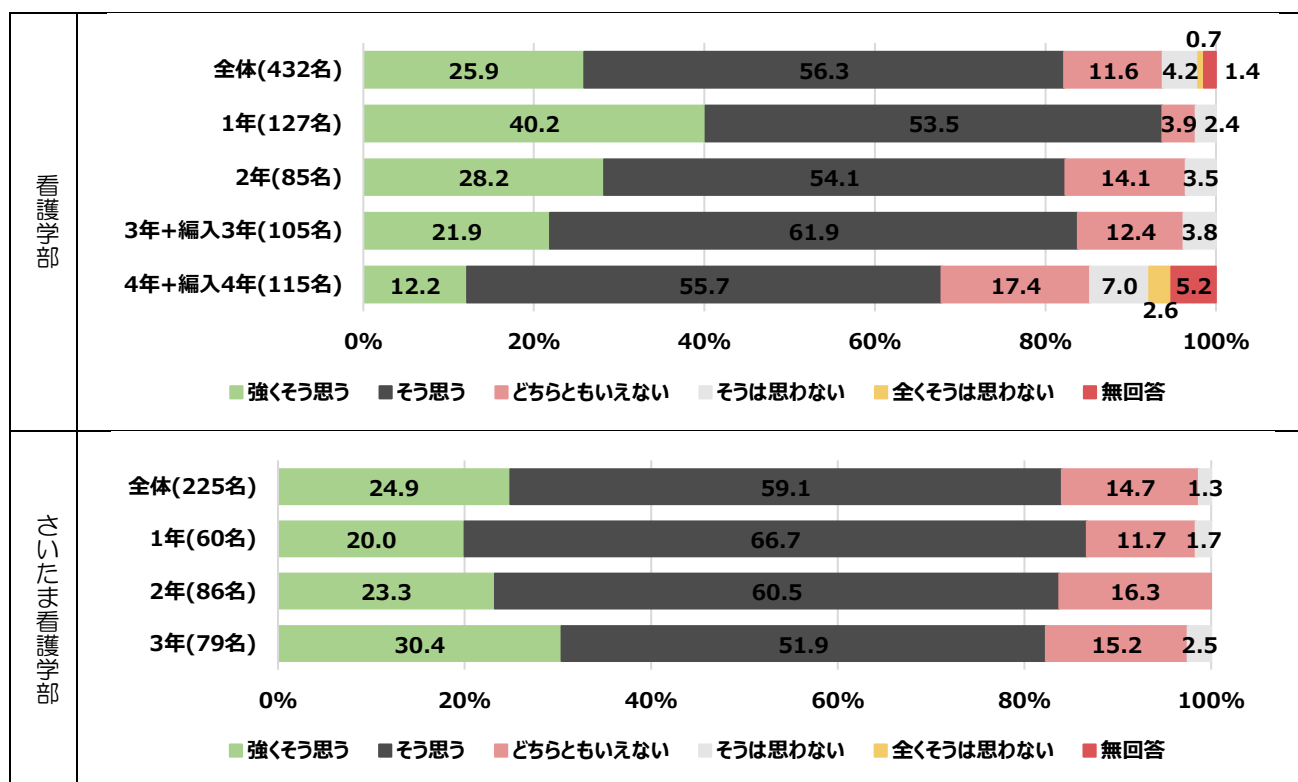
1 現時点であなたが身につけている能力

現時点であなたが以下の項目の能力を身につけているかについて、回答してください。

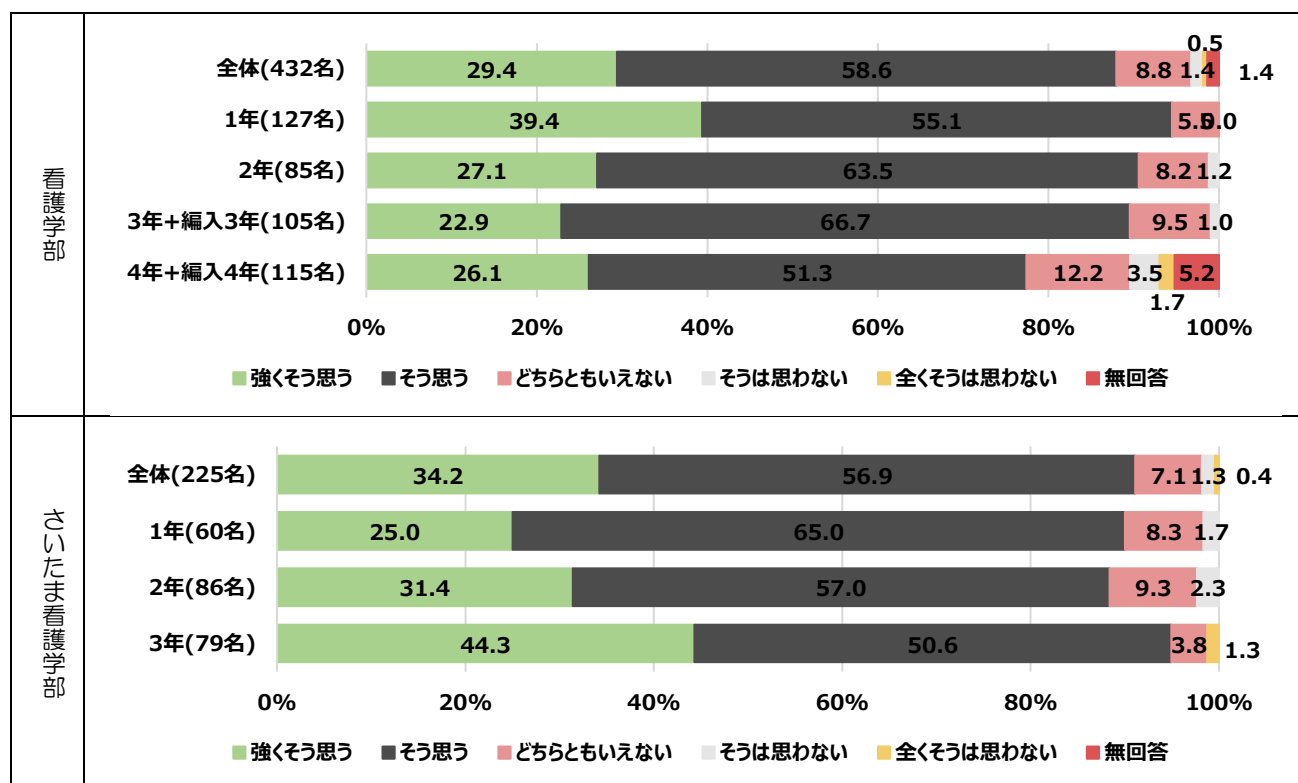
1-1 一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる



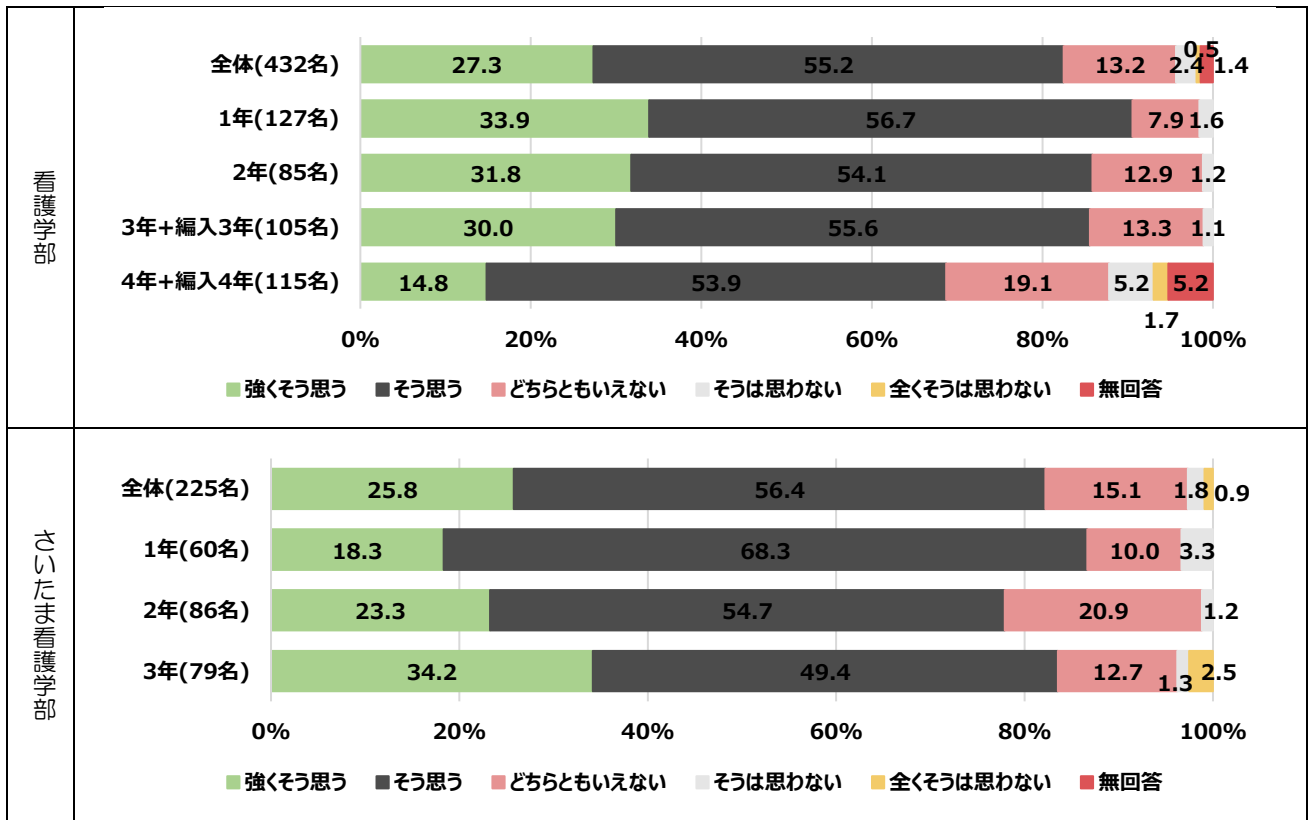
1-2 看護を受ける人の成長発達や生活の場に応じた看護に必要な知識・技術を用い、実践することができる



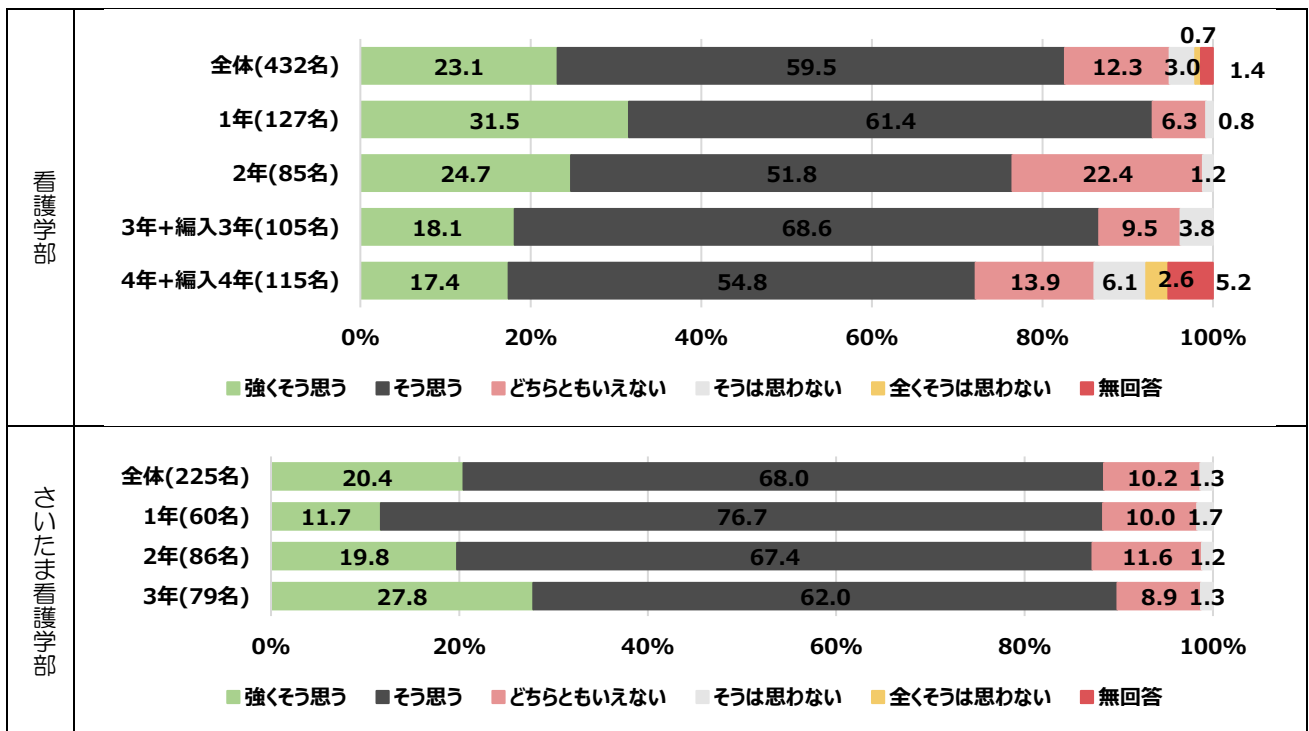
1-3 看護を受ける人の持つ力を活かして実践することができる



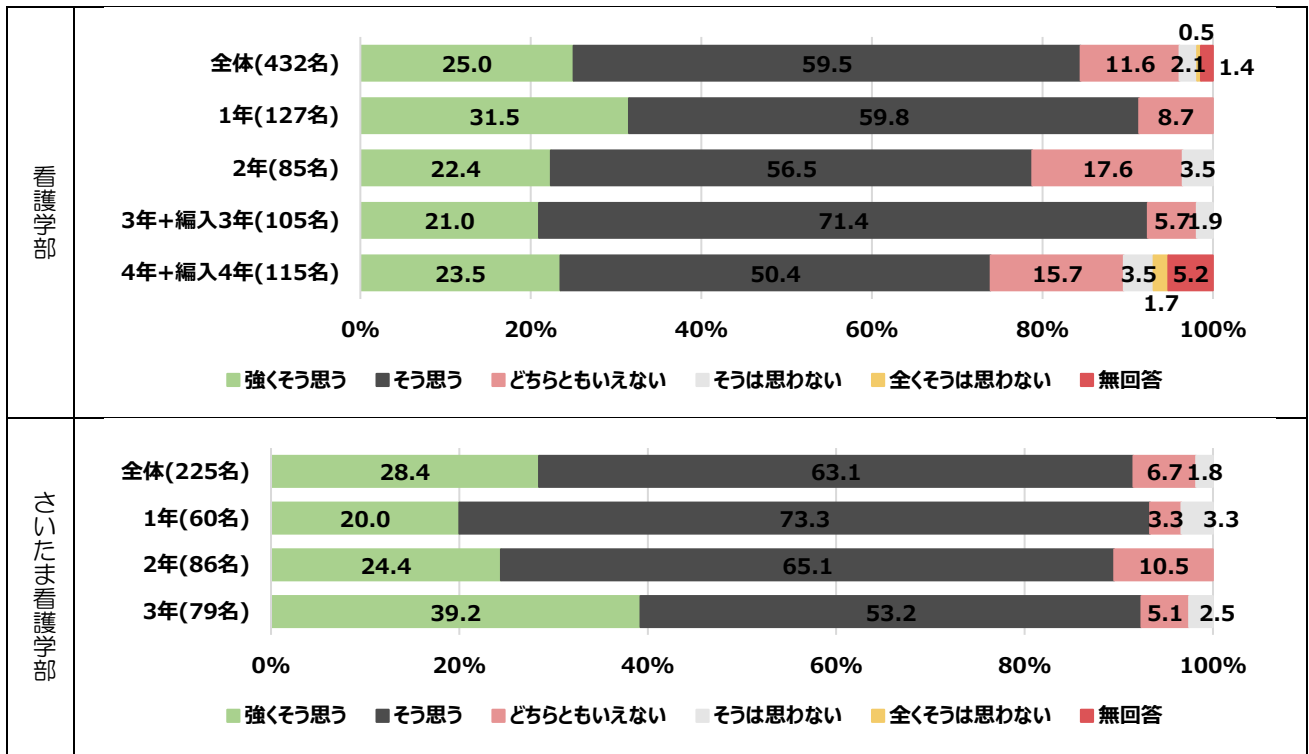
1-4 健康レベルに応じた諸課題への対処に必要な知識・技術を用い、実践することができる



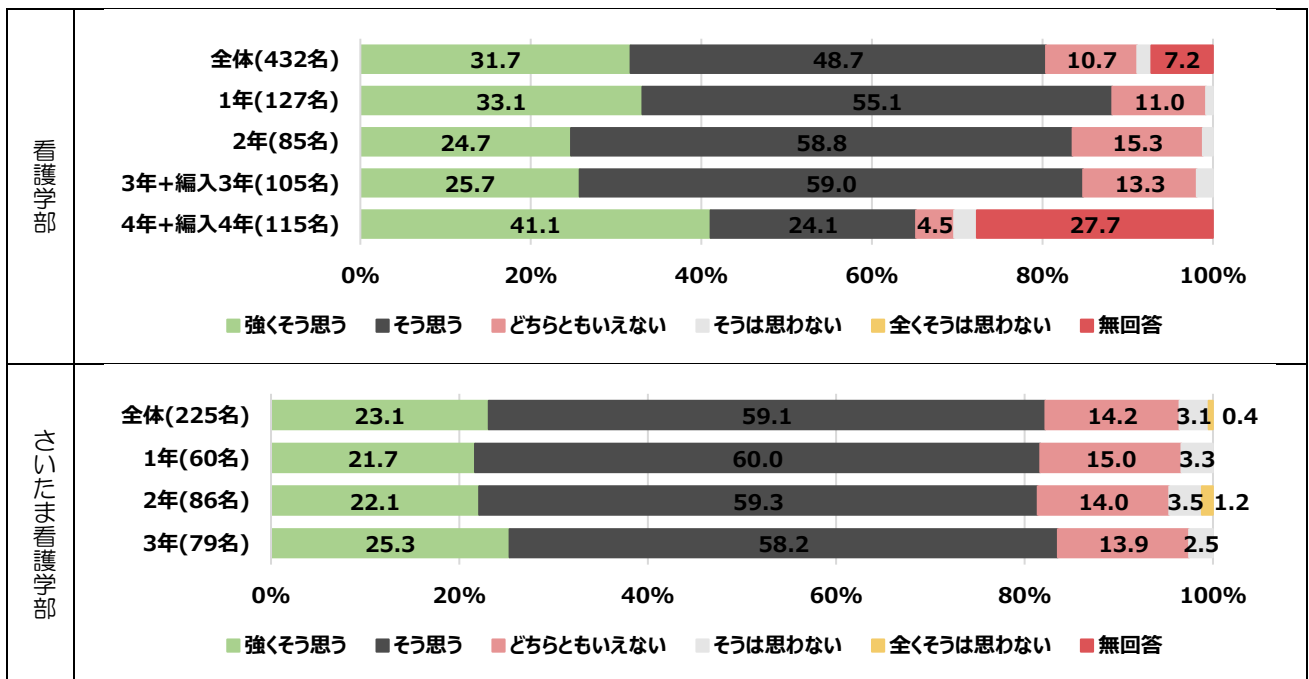
1-5 自らが設定した諸課題の情報を適切に収集し、分析することができる



1-6 専門職として成長し続けるための自己の課題を見出すことができる



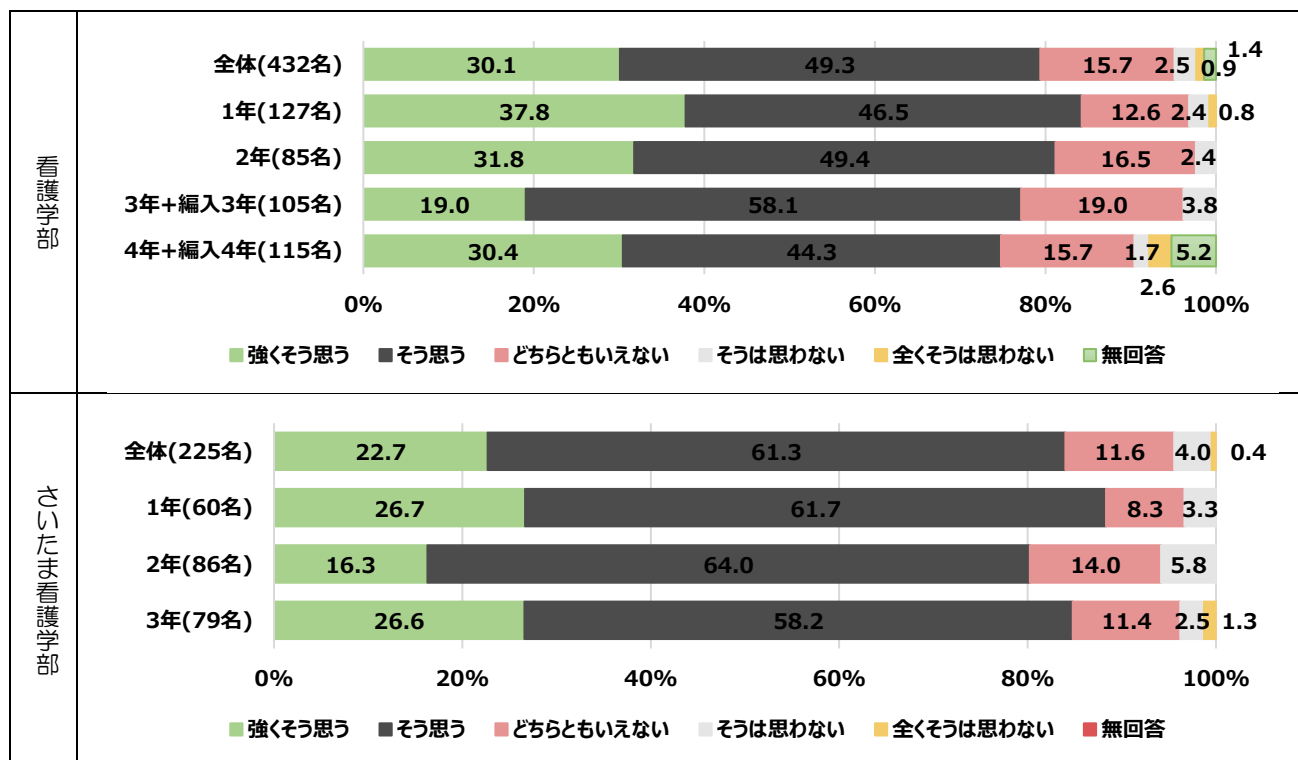
1-7 国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる



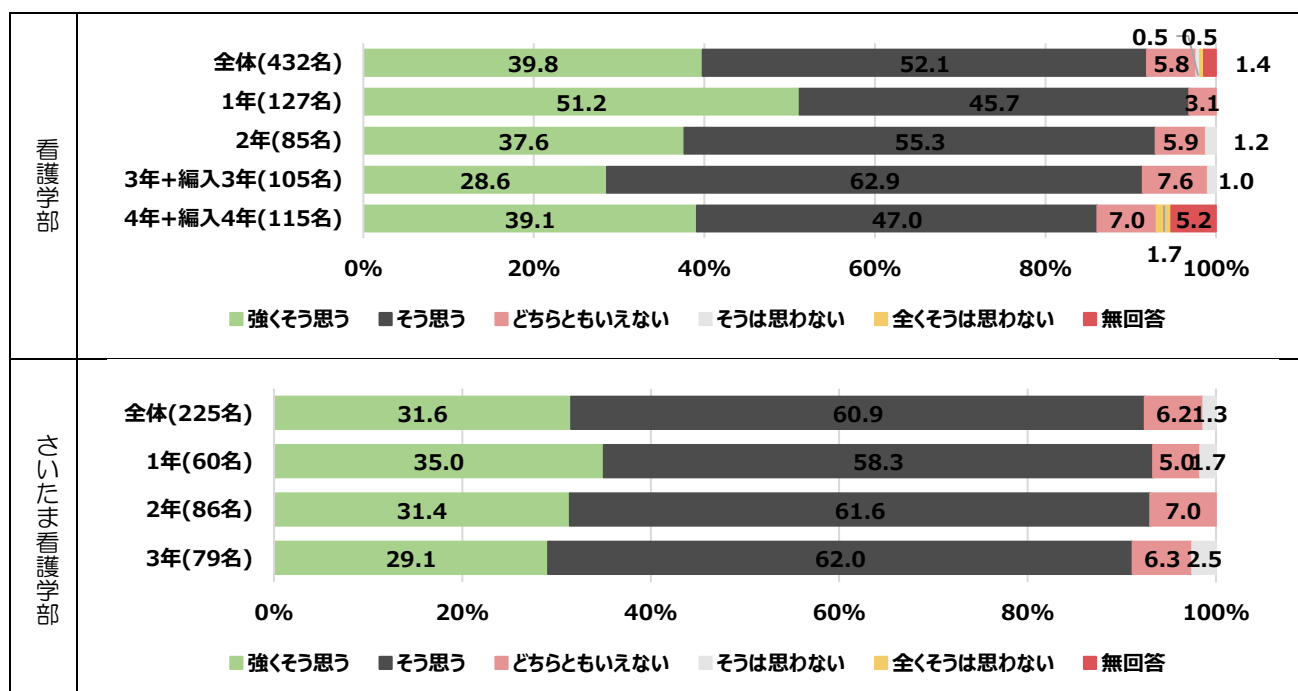
2 本学のカリキュラムに対するあなたの考え

2-1 高等学校での学習を補ったり、大学での学習へとつないでいくことを考えたカリキュラムである

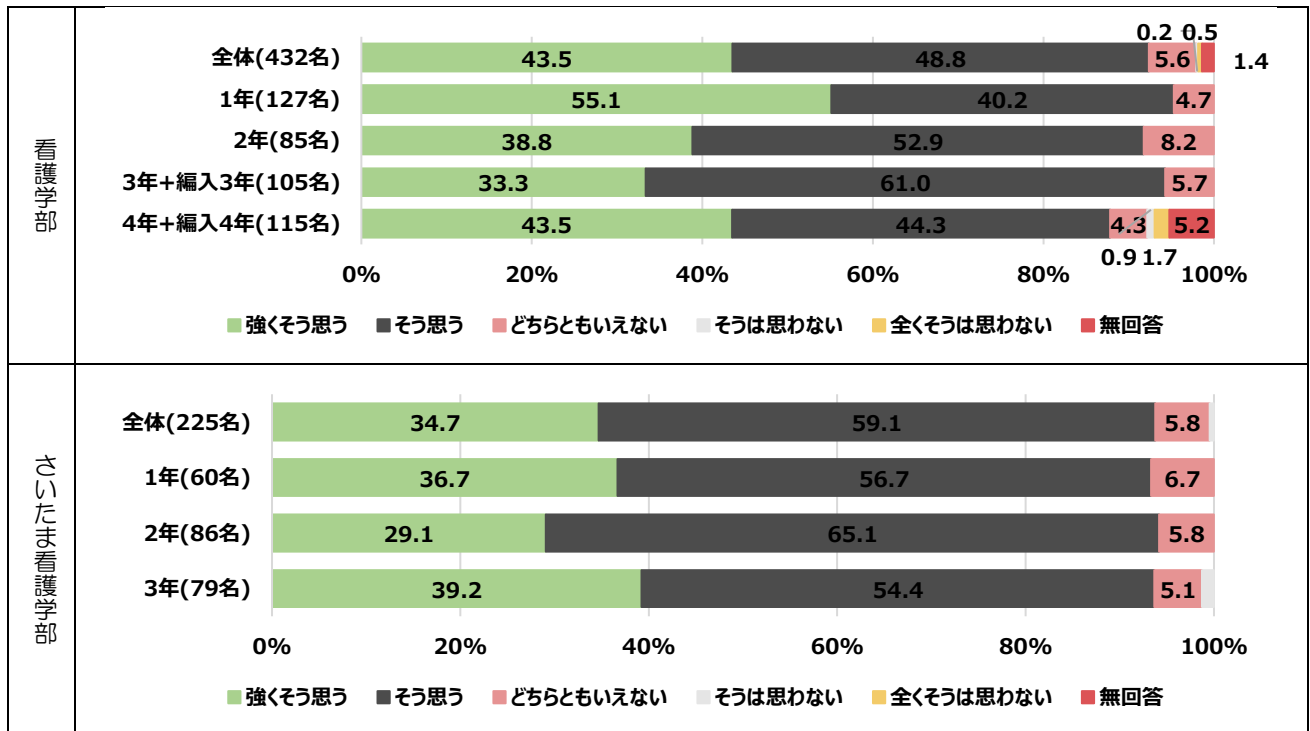
■ 全くそうは思わない ■ そうは思わない ■ どちらともいえない ■ そう思う ■ 強くそう思う ■ 無回答



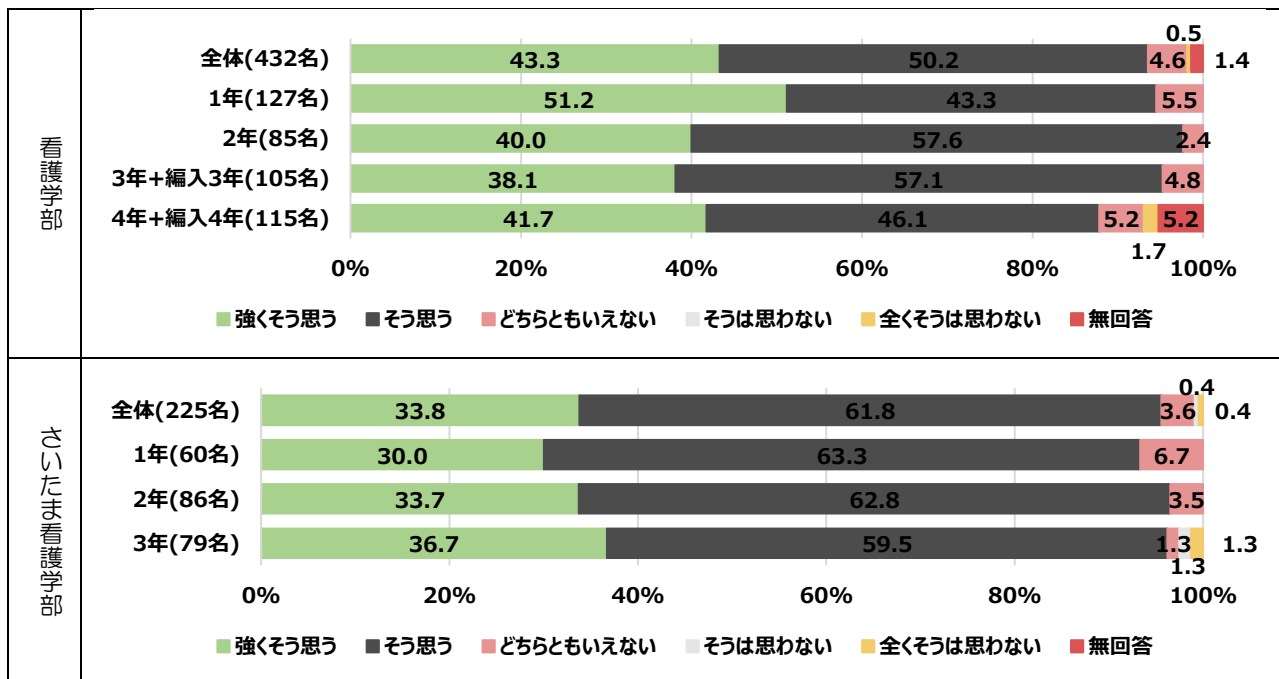
2-2 医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである



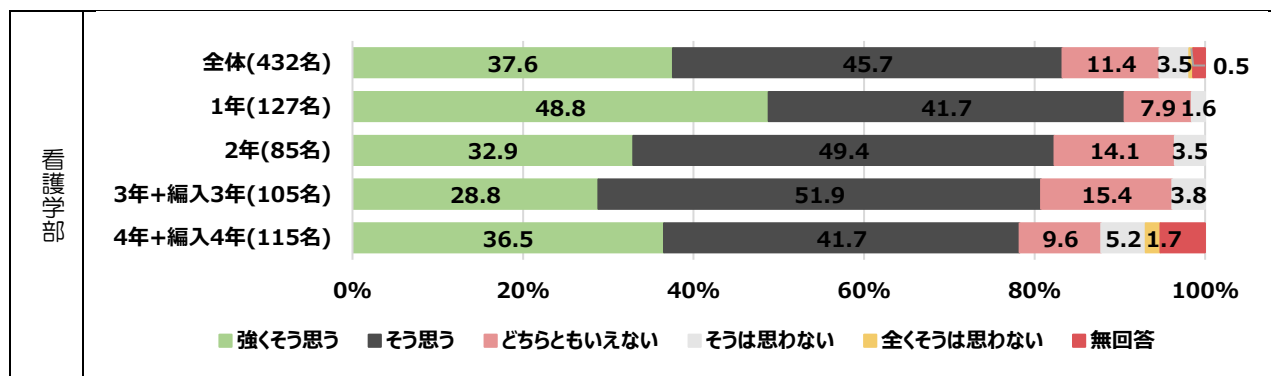
2-3 エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである



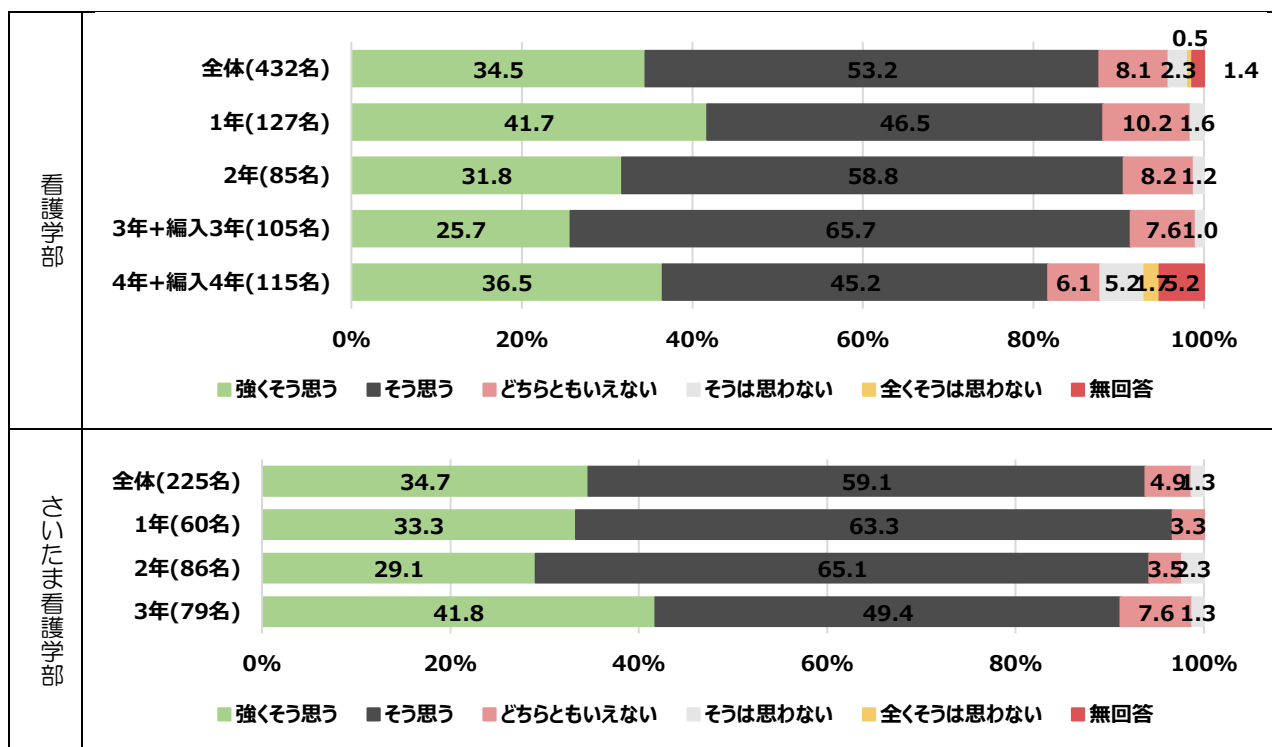
2-4 さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである



2-5 国内外の災害救援・救護や国際開発協力等における実践能力を育成するようなカリキュラムである

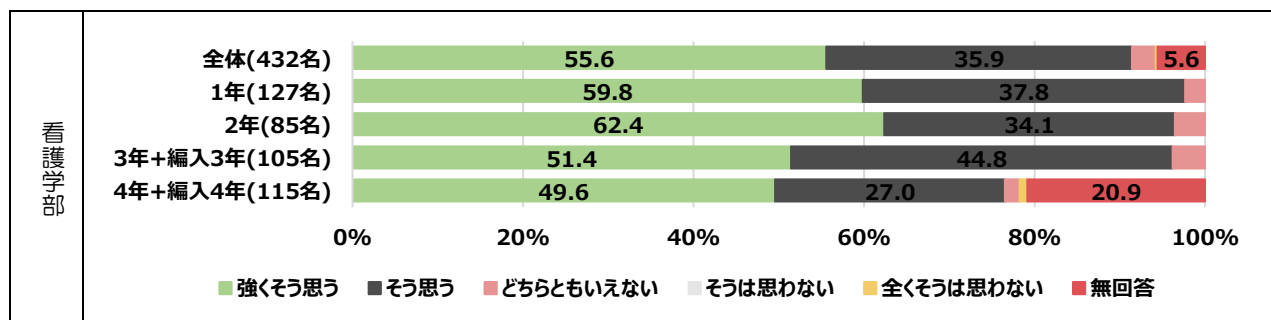


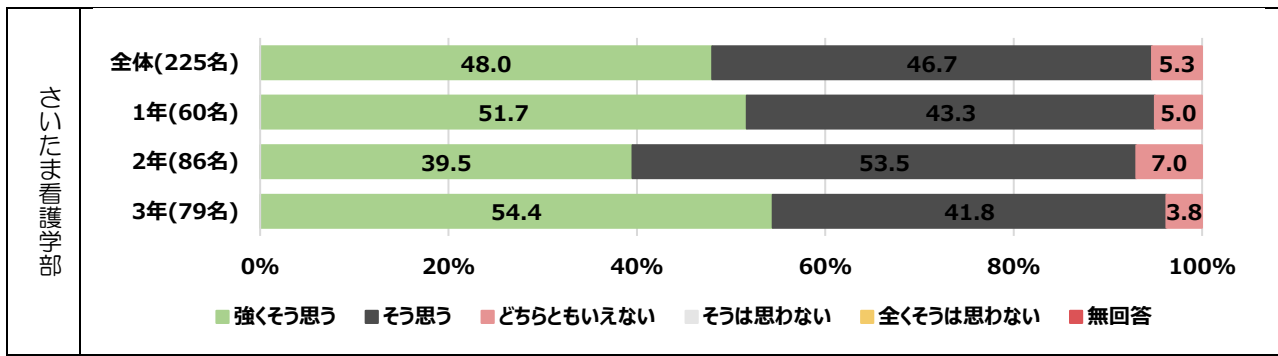
2-6 看護職（保健師・看護師）に共通する地域社会（コミュニティ）の中で連携して実践していくための能力を育成するようなカリキュラムである



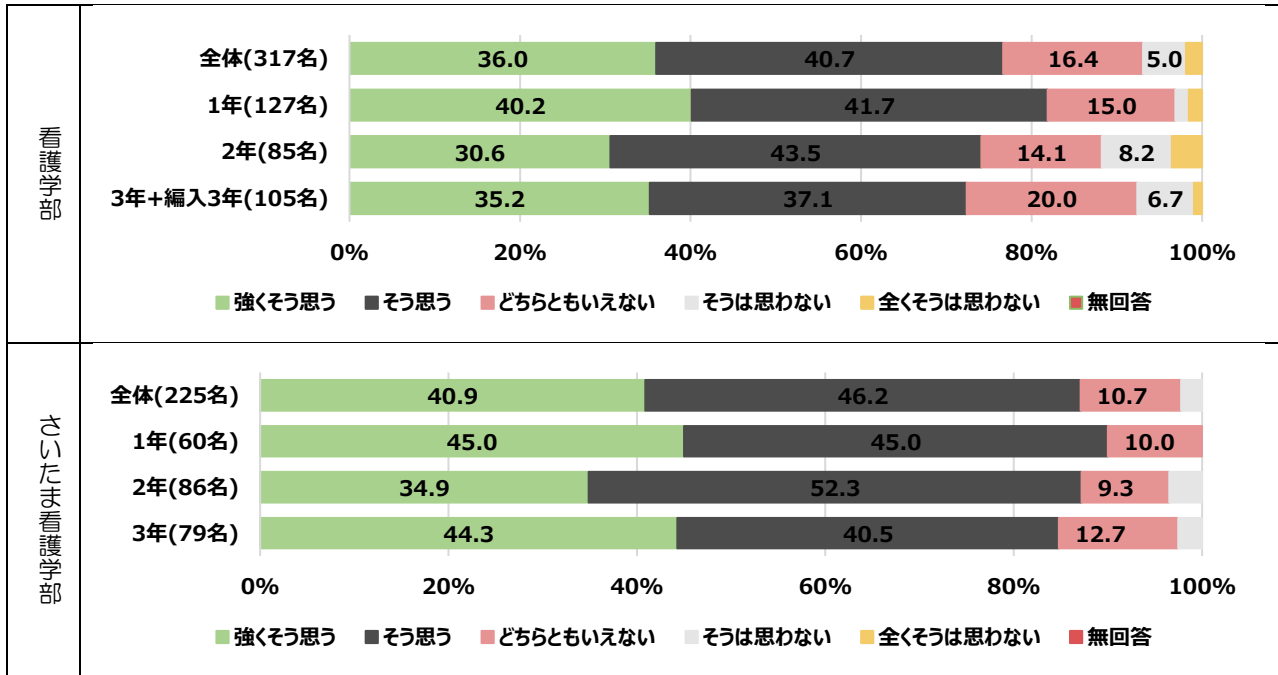
3 学生生活における満足度

3-1 学問分野の専門家として優れた教員が多い

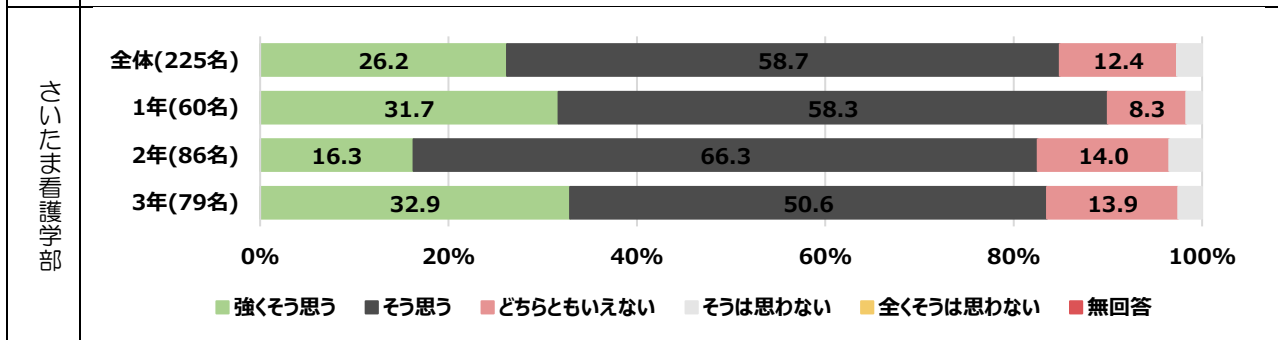
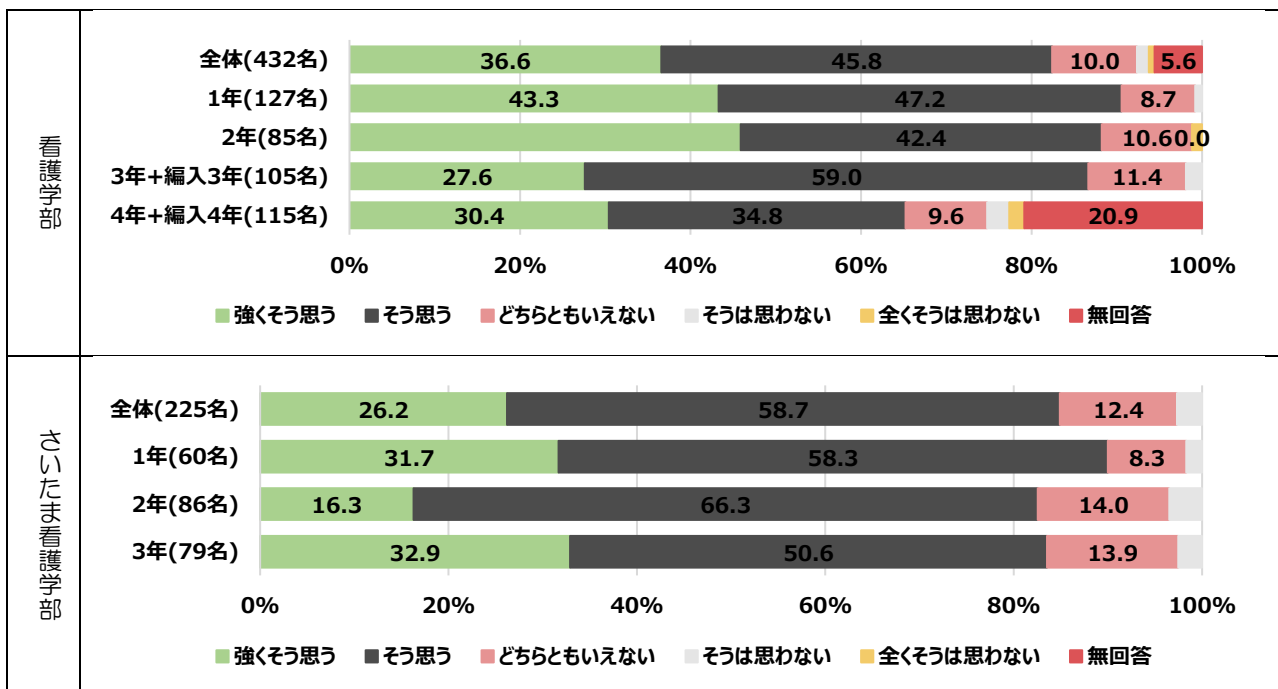




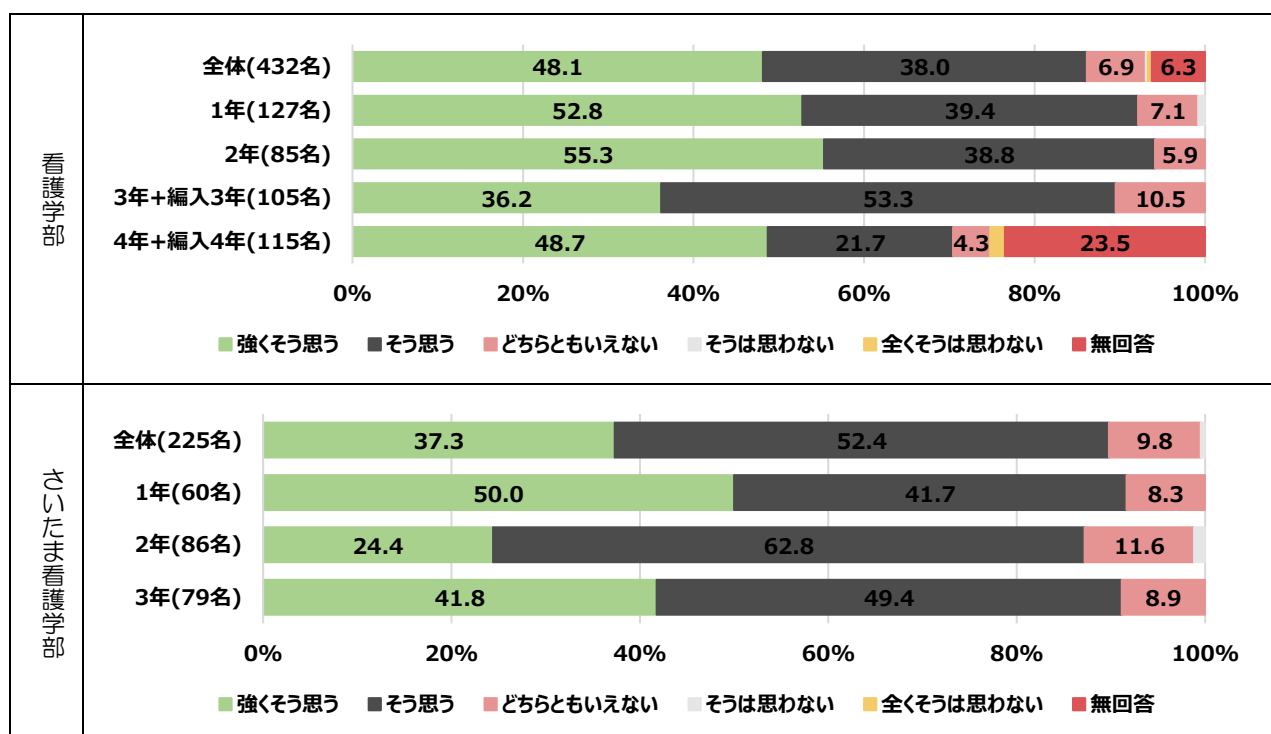
3-2 学生担当教員による支援に満足している／クラス担当教員による支援に満足している



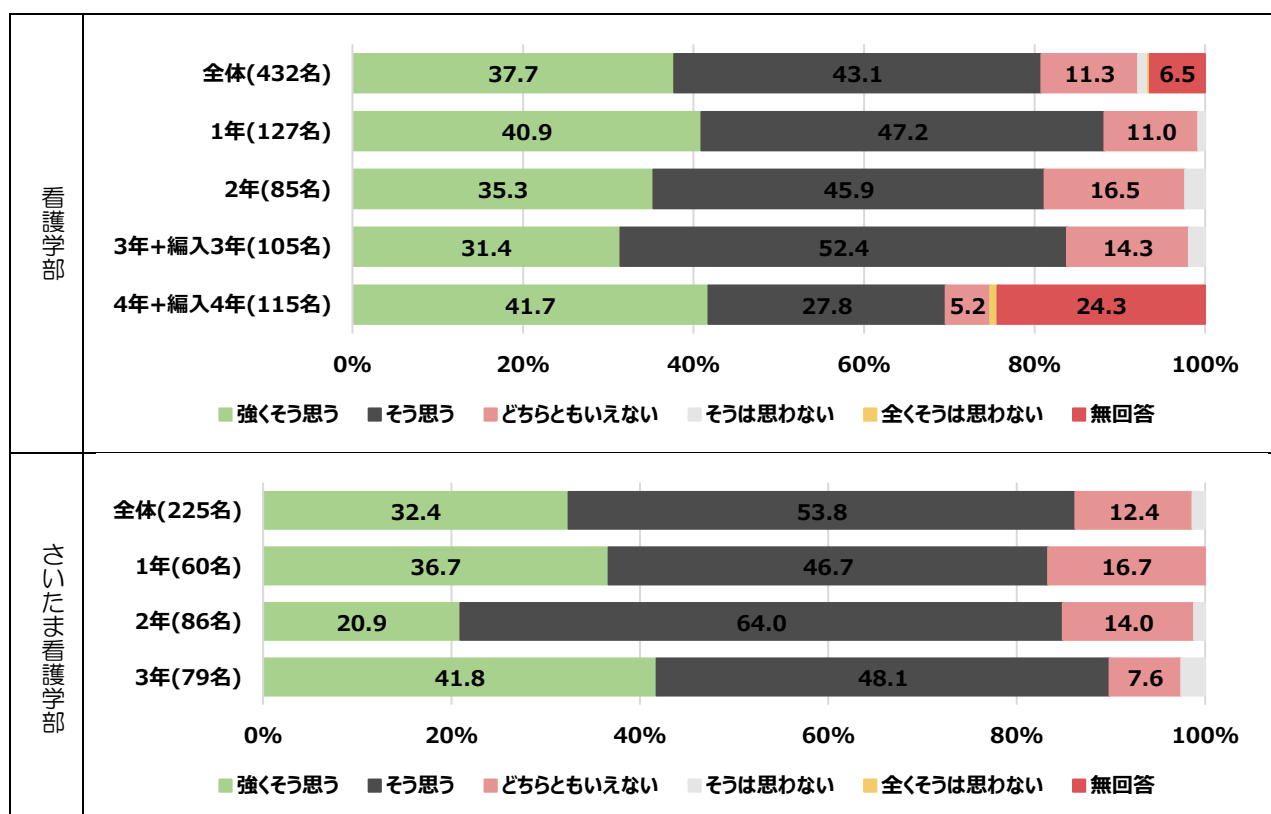
3-3 全般的に学生生活に満足している



3-4 本学に入学してよかったと思う



3-5 自分の成長を実感している

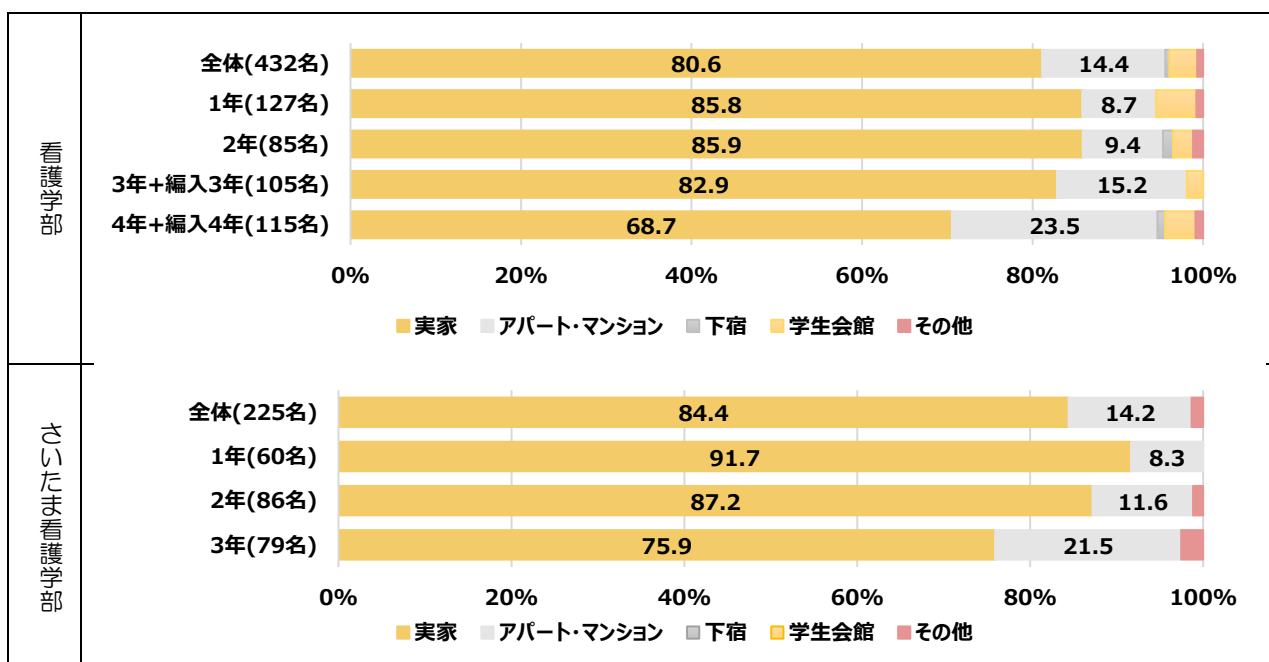


B 学生生活全般に関する調査

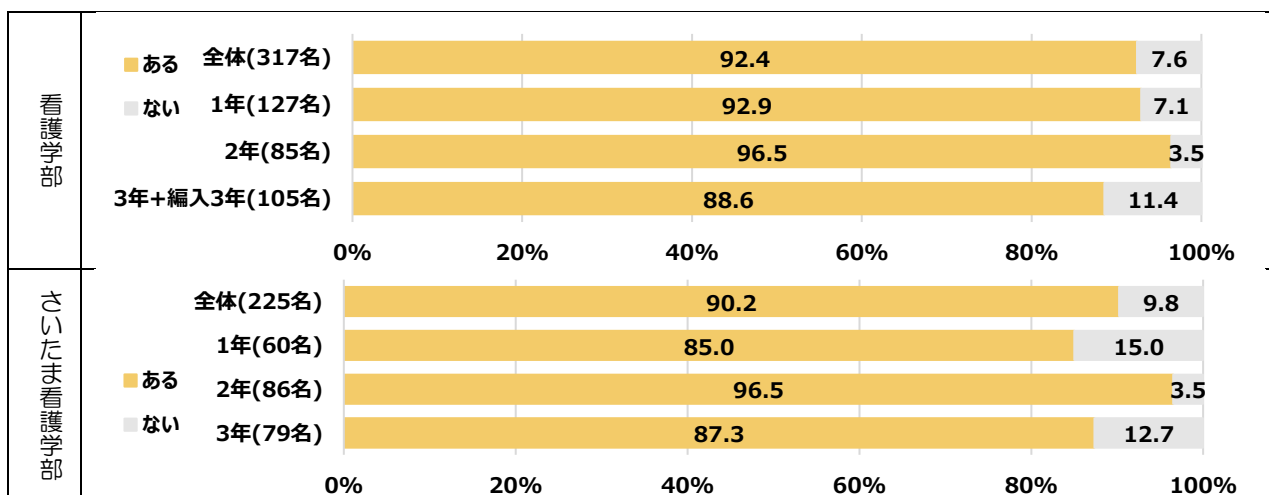
- ✓ 両学部ともに、全体の8割が実家に住んでいると回答した。
- ✓ 家族からの援助額は月額3万円未満が最も多かった。
- ✓ 全体の9割以上の学生がアルバイトによる収入があると回答した。アルバイトの目的は趣味・嗜好品を購入するため最も多く、次いで、生活費・社会勉強であった。
- ✓ 課外活動への参加については、全体の2〜3割が「加入し、活動している」と回答し、その時間は1時間未満が最も多く5割前後、「加入のみで、活動していない」「以前加入していたがやめた」が両学部ともに3割前後いた。

2. 学生生活全般に関する調査

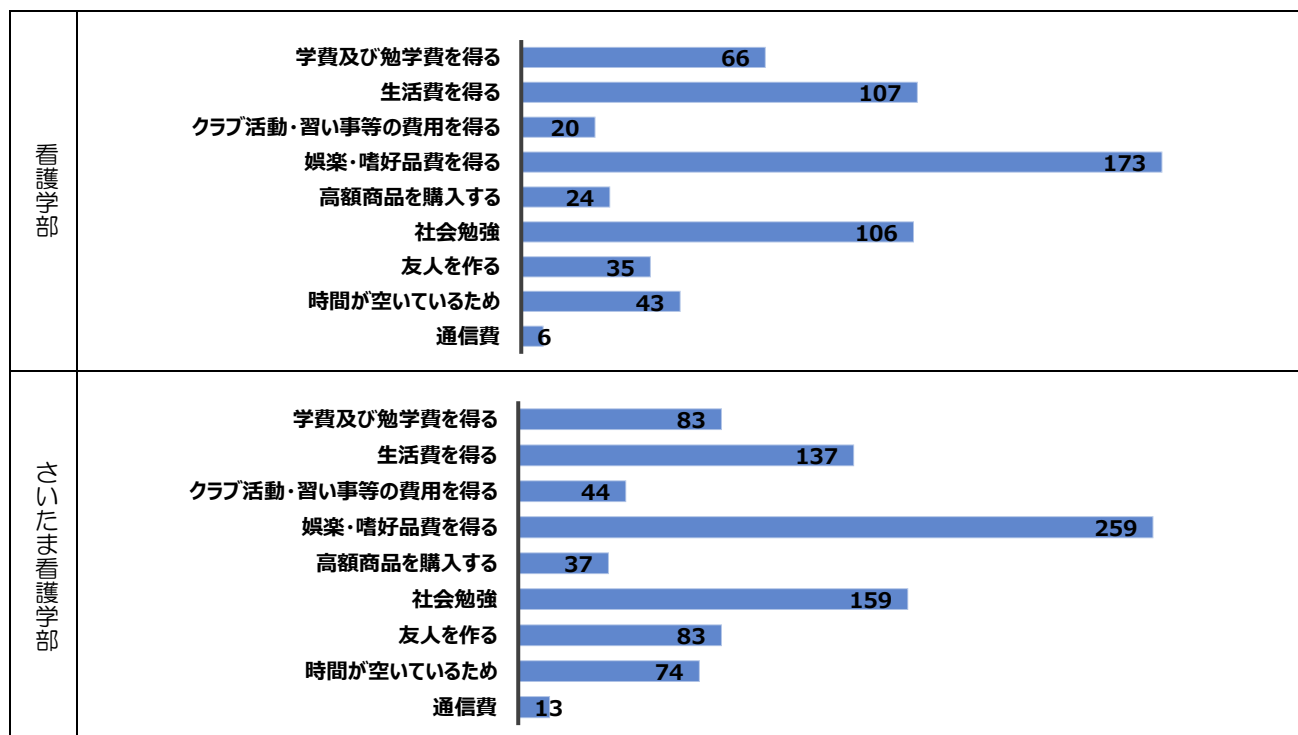
2-1. 現在、住んでいる住居の種類はどれですか



2-3 アルバイトによる収入

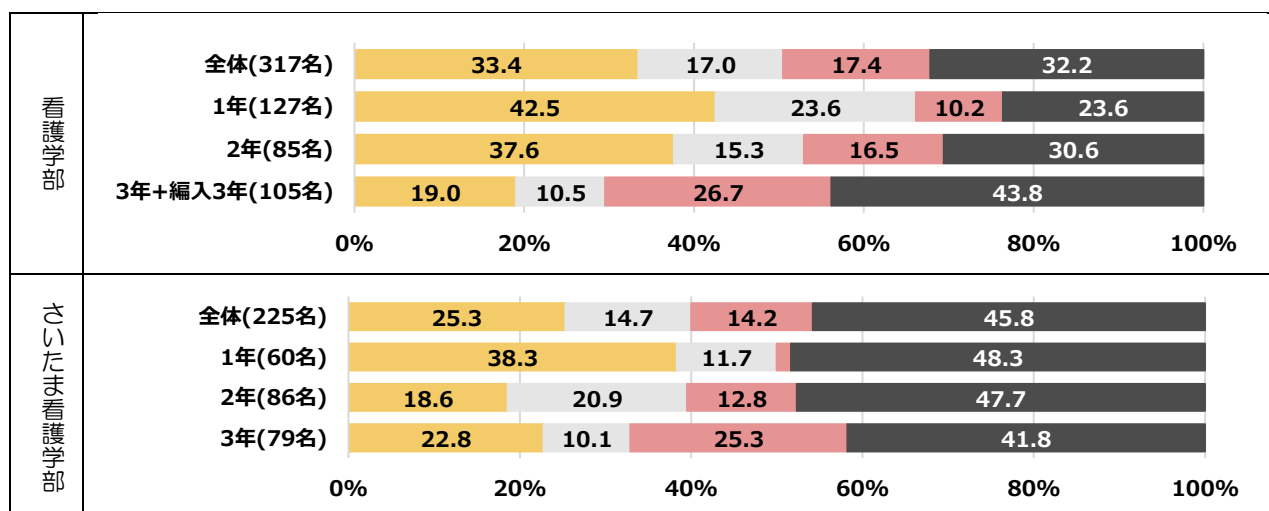


2-4 アルバイトの目的はなんですか。

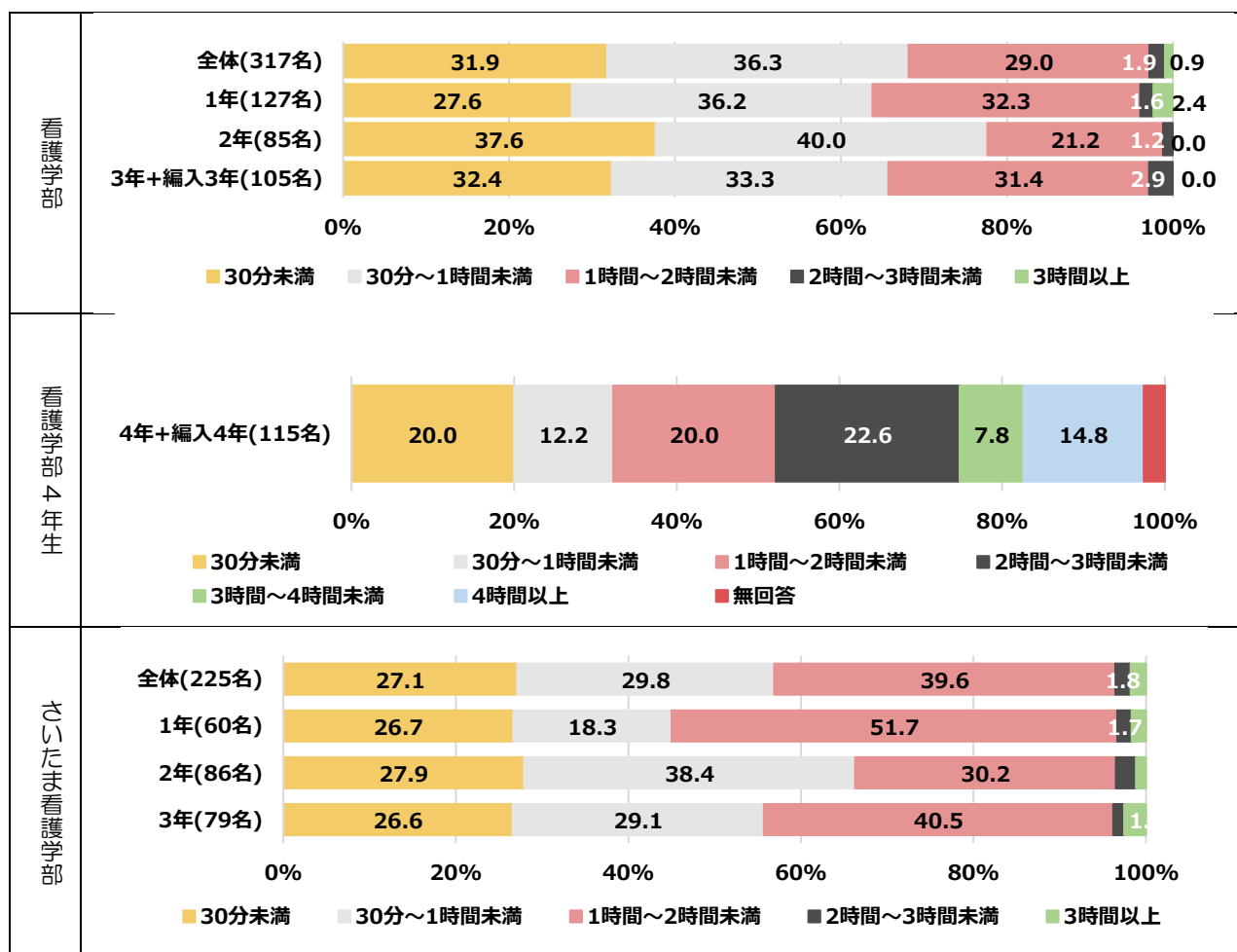


2-5 あなたは、現在、課外活動（学内・学外）に参加していますか。

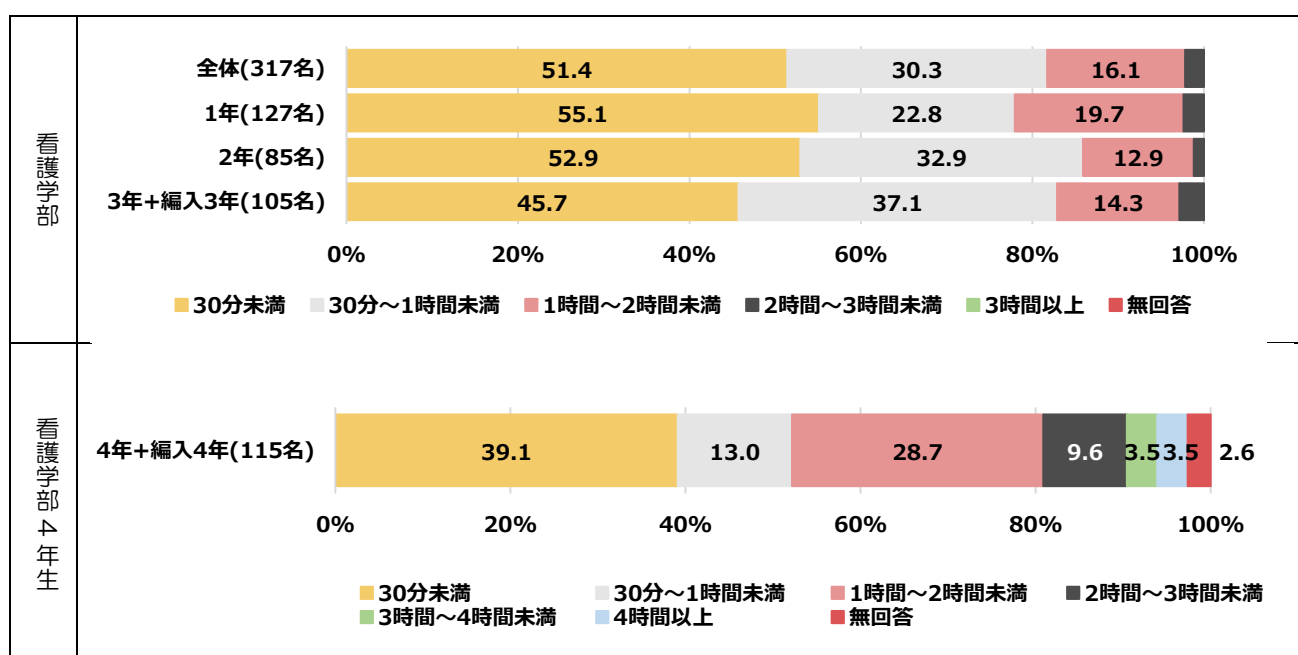
■ 加入し、活動している ■ 加入のみで、活動していない ■ 以前加入していたがやめた ■ 最初から加入していない

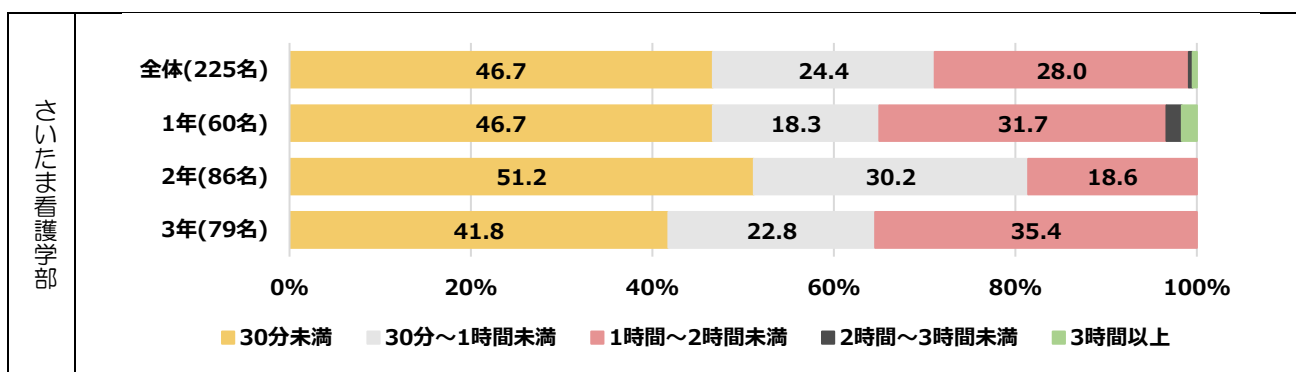


2-6 普段時（実習がない期間）の学習時間（看護専門科目）



2-7 普段時（実習がない期間）の学習時間（基礎教養科目）





2-8 実習がある期間の学習時間

